

漁業調査指導船「興洋」竣工

—東京都小笠原水産センター所属—



搭載機器は集中配置及び集中操作方式を採用することにより、効率的な作業・運航を可能とし、軽快な作業性と衛生的な居住設備を有する最新鋭の漁業調査指導船です。

本船は小笠原漁業の振興を図り地元漁業者の要望に応えるため、以下の調査等に取り組んでいます。

- 漁獲量のアップを目指し、立縄漁業の更なる効率化と収益性の向上を図る。
- 新たな深海資源や未利用資源の漁場、漁法を開発し、新しい漁業を興します。
- 資源管理の為に卵稚仔などの基礎生産データの収集と調査を行い、管理型漁業を推進します。
- 漁場の秩序を保つ為、沖ノ鳥島などでの漁業監視に努め、違反船の操業と乱獲を防ぎます。

4. 主要機器

(1) 船体部主要機器

舵取機械	1台
ウインドラス	1台
キャブスタン	1台
バウスラスター	1台
空調装置	1式
作業艇	1隻
救命筏（15人乗り）	1台

(2) 機関・電気部主要機器

主機関	1台
1,030kW×1,000min ⁻¹	
発電用機関	2台
135kW×1,800min ⁻¹	
減速機	1台
可変ピッチプロペラ	1台
油圧ポンプユニット	3台
燃焼解析装置／軸出力計	1式
機関監視装置	1式
セントラルクーラー	2台
燃料油清浄装置	1台
主機潤滑油清浄装置	1台

1. はじめに

周囲を海に囲まれた日本は、国土面積約38万km²の12倍にあたる約447万km²の排他的経済水域（領海を含む）を有する海洋国家です。

中でも、東京内湾のほか、伊豆諸島から小笠原諸島に至る多くの島々が所属する東京都には、日本全体の38パーセントにあたる広大な排他的経済水域が存在しています。「興洋」は小笠原諸島の周辺海域を中心に漁場の開拓や監視という重要な業務に従事しています。

本船は平成19年2月28日に竣工し、乗組員の習熟運転を実施した後、東京都小笠原水産センターに回航されました。

日本造船技術センターは本船の基本設計と建造監理を実施しましたので、以下に本船の概要を紹介します。

2. 船舶の概要

(1) 工 程

起 工	平成18年 9月27日
進 水	平成19年 1月16日
竣 工	平成19年 2月28日

(2) 主要目

船 質	鋼
(上部構造：アルミ合金製)	

全 長	33.07m
登録長さ	28.40m
幅 (型)	6.00m
深さ (型)	2.90m
満載喫水	2.35m
総トン数	87トン
航行区域	乙区域（非国際）
試運転最大速力	14.2ノット
航海速力	13.0ノット
最大搭載人員	14名
船 員	9名
その他乗船者	5名

3. 特徴

「興洋」は東京都小笠原水産センターに所属し、小笠原諸島の父島を母港として、小笠原海域（智島、父島、母島、火山列島海域）、沖ノ鳥島海域等で漁業に関する調査、試験、指導及び取締りに従事する第3種漁船で各種の資源調査機器を装備し、調査機能の充実した船舶です。

船型は船首楼を有する一層甲板船であり、優れた操縦性能、十分な耐航性能と復原性能を有しています。

主機関は燃費に優れ、低NO_x、低CO₂の環境に配慮した機種を採用しています。

海洋生物付着防止装置	1台	自動交換電話	1式	無線方位測定機	1式
油水分離機	1台	電子ホーン	1式	GPSブイ専用送信機	1式
主空気圧縮機	2台	エアホーン	1式	GPSブイ	3台
非常用空気圧縮機	1台	船内指令装置	1式	(4) 調査観測機器等	
造水装置	1台	ワイヤレス送受信装置	6台	CTD測定装置	1式
温水器	1台	水晶時計	1式	海底地形探査装置	1式
送風機	3台	船内LAN	1式	全周ソナー	1式
発電機 150kVA	2台	暗視機能付探照灯	1式	潮流計	1式
主配電盤	1式	監視カメラ装置	1式	魚群探知機	1式
(3) 航海計器・通信装置等		火災報知器	1式	投込み式水温塩分水深計	1式
磁気コンパス	1台	海事衛星通信装置	1式	耐圧ビデオカメラ	1式
ジャイロコンパス	1台	双方向VHF無線電話	2台	表中層稚魚ネット	1式
オートパイロット	1式	ナブテックス受信機	1式	マルチネット	1式
トラッキングパイロット	1式	レーダートランスポンダー	1台	ノルバックネット	1式
サテライトコンパス	1式	非常用位置指示無線標識	1台	ボンゴネット	1式
レーダー	2式	国際VHF無線電話	1式	観測ウインチ:DDVC駆動	1台
GPS航法装置	1式	SSB送受信機 2MHz 75W	1式	ワーブネットウインチ	1台
GPSプロッター	1式	SSB送受信機 2MHz 10W	1式	デッキクレーン	2台
カラーハードコピー	1式	全波受信機	1台	ラインホーラー	1台
マルチディスプレイ	1式	SSB送受信機 27MHz 25W	1式	底魚1本釣漁業装置	9台
デジタル水温計	1式	DSB送受信機 27MHz 1W	1式	電気ショッカー	1台
電動ワイパー	3台	衛星船舶電話	2式	曳き縄装置	1式
気象計	1式	気象用ファクシミリ	1式	漁獲物冷却装置	1式
直通電話（共電式）	2式	船舶用衛星放送受信装置	1式		

5. おわりに

本船の基本設計・建造監理を進めるにあたり、常に積極的なご支援とご高配を賜りました東京都産業労働局殿、東京都島しょ農林水産総合センター殿、東京都小笠原水産センター殿に対し厚くお礼申し上げます。

また、新潟造船株式会社殿が、高度な技術と誠意をもってご尽力頂いたことを付記します。

（海洋技術部 太田）

調査設備概要

